

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和4年3月3日(木)16時00分～16時55分
3. 場 所：原子力規制庁 16階E会議室（web開催）
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官

河野主任技術研究調査官

北條主任技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

水田技術研究調査官

原子力エネルギー協議会：1名

九州電力株式会社：2名

三菱重工業株式会社：3名

MHI 原子力研究開発株式会社：1名

#### 5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「原子炉圧力容器の健全性評価に係る研究（2020年度～2024年度）」において、九州電力株式会社玄海原子力発電所2号機から監視試験片の貸与を受けて実施する各種試験については、前回の意見交換で九州電力株式会社より MHI 原子力研究開発株式会社での実施の希望が出されていたので、MHI 原子力研究開発株式会社で各種試験を実施する場合の意見交換を行った。

三菱重工業株式会社から監視試験片の試験を実施する場合の全体工程案の説明があるとともに、シャルピー試験は2023年度内に可能であるとの説明があった。また、九州電力株式会社からは、監視試験片の照射量を解析するときに必要な運転情報については、解析入力データとして提供可能である旨の説明があった。

規制庁からは、2023年度に監視試験片の試験を実施する場合の発注方法については今後規制庁内で協議して決まるとの説明を行った。参加者からは了解したとの回答を得た。

#### 6. その他

提出資料：特になし。